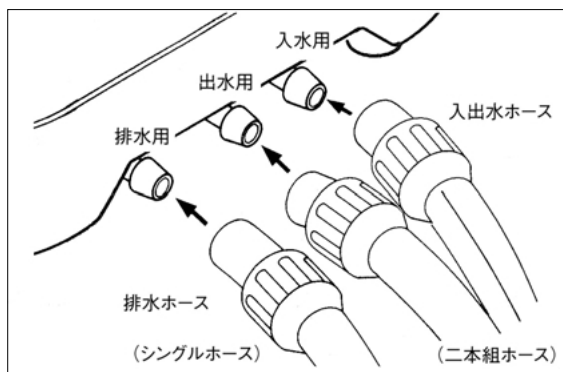


ホースの接続方法

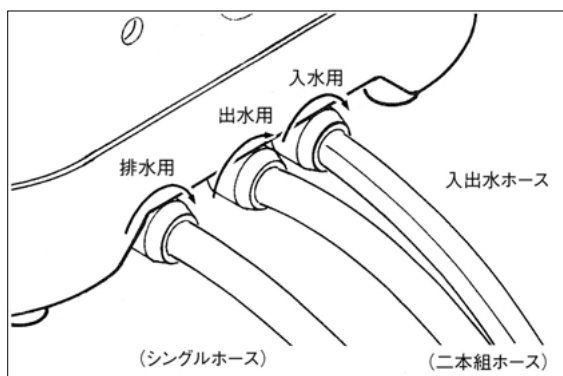
整水器本体へのホースの接続

整水器本体の底面にある接続エルボ(3個)に付属品の入出水ホース・排水ホースを接続します。

(1) 接続エルボについているナットと栓を取り外し、ナットを入出水ホース及び排水ホースに通します。(方向を間違わないようにご注意ください。)



(2) 各ホースをエルボに十分挿入し、その後ナットにて固定してください。



(3) 排水ホースは付属の吸盤に通し固定してください。入出水ホースは2連管になっていますが、接続間違いを防止するために一方のホースには青いラインが印刷されています。接続のときご確認ください。

青いラインの入ったホースを整水器本体の入水側と分岐水栓のホース取付部の上側に取付けてください。

分岐水栓への接続

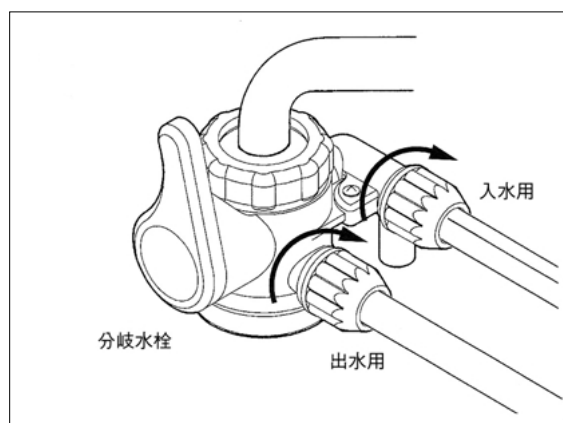
整水器本体へ接続した入出水ホースのもう一方を分岐水栓に接続します。

(1) 本体に接続した入出水ホースの一方を必要な長さに切り、分岐水栓についているナットを取り外し、ホースに通します。(方向を間違わないようにご注意ください。)

(2) ホースを分岐水栓に充分挿入し、その後ナットにて固定してください。

整水器本体の入水側に取付けたホースは分岐水栓のホース取付部の上側に取付けてください。

整水器本体の出水側に取付けたホースは分岐水栓のホース取付部の下側に取付けてください。



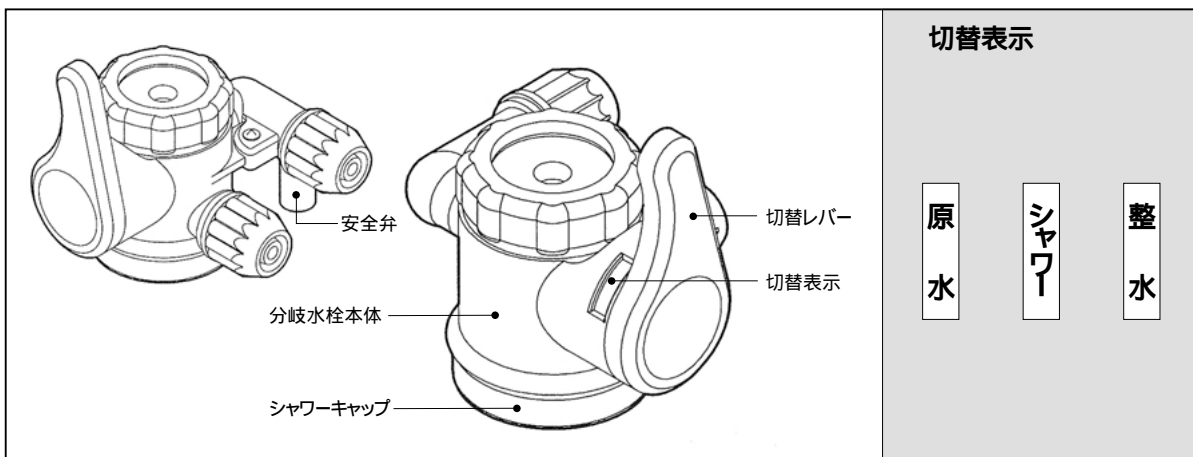
(3) 付属の固定バンドでホースを固定してください。



本体設置時の使い始め及び洗浄カートリッジの交換後は、スイッチポケットのリセットスイッチを必ず押してください。

初めてご使用する場合は酸性の洗い物レンジで約5分間通水してください。

分岐水栓について



還元水、酸性水、浄水の取水

切替レバーを操作して、切替表示を整水にしてお使いください。(整水器本体の取水切替スイッチによって還元水、酸性水、浄水の選択をしてください。)

整水器本体に通水する時以外は、切替レバーは必ず原水またはシャワーにしてください。整水にした状態で放置しますと、蛇口がきっちり閉められていない時には排水ホースから水が止まらず、開放の状態となります。

お湯は使わないでください。

お湯(40℃以上)は、整水器本体内部に通水されず、本体の排水ホースから排水されます。

原水の使用

切替レバーを操作して、切替表示をシャワーか原水にしてお使いください。

お湯を使う場合 60℃以下でご使用ください。

安全弁

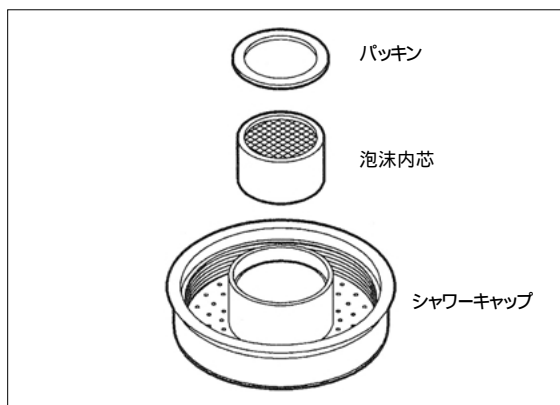
次のような場合、安全弁より水が出ます。

- (1) 水圧が高い
- (2) 浄水カートリッジの目詰まり
- (3) 接続ホースの折れ
- (4) シャワーキャップ内部の泡沫内芯の目詰まり

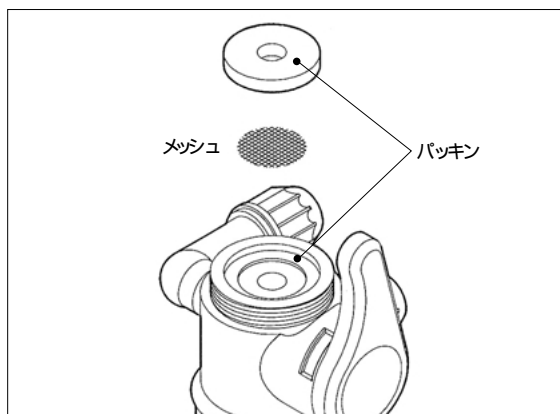
安全弁から水が出た場合は P24 のチェックリストの処置をご参照ください。

お手入れ方法

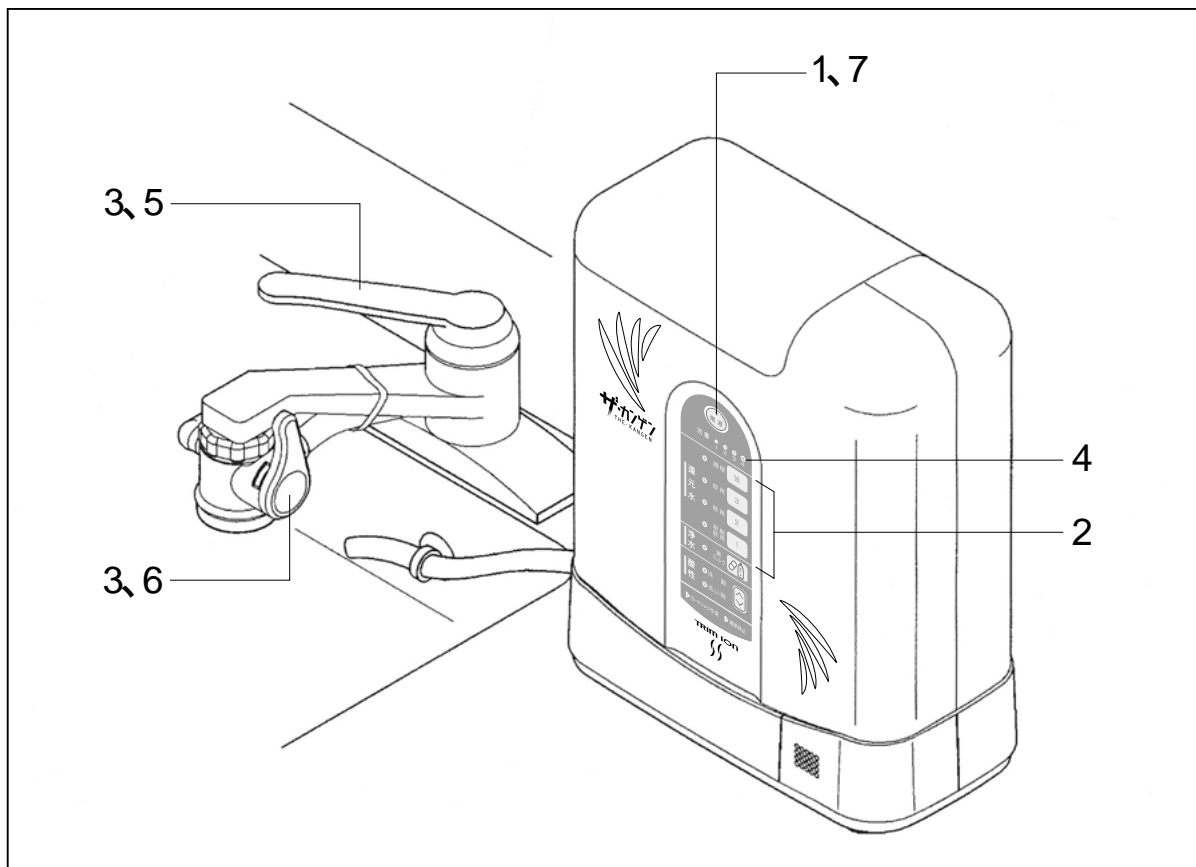
(1) シャワーキャップ、泡沫内芯を分岐水栓本体から取り外してブラシ等で掃除してください。



(2) 分岐水栓を蛇口から取り外し、パッキンの間にあるメッシュを、ブラシ等で掃除してください。



還元水の取水



1. 電源スイッチを押し、電源表示灯が点灯することを確認します。

同時に取水切替スイッチ表示灯の1つが点灯します。

2. 取水切替スイッチの還元水(4段階)を用途に応じたレンジを押します。選択した種類のレンジの表示灯が点灯します。

3. 分岐水栓の切替レバーを **整水** に切替え、水道の蛇口を開け、整水器に給水します。

4. 流量表示灯が点灯し、メロディが鳴り始めます。流量表示灯は整水器に給水される水道水の量によって点灯数が変化します。水圧の変化等により、点灯数が異なります。赤色表示灯が点灯する場合は水量が多すぎますので、蛇口を絞り水量を調節してください。

メロディが鳴り始めて、2～3秒後から安定した生成水が取水できます。

5. 生成水を取り終わりましたら、蛇口を閉じてください。流量表示灯が消え、メロディが切れます。

6. 分岐水栓の切替レバーを原水またはシャワーに切替えます。

7. 電源スイッチを押し、電源表示灯が消えたことを確認します。

使用後は...

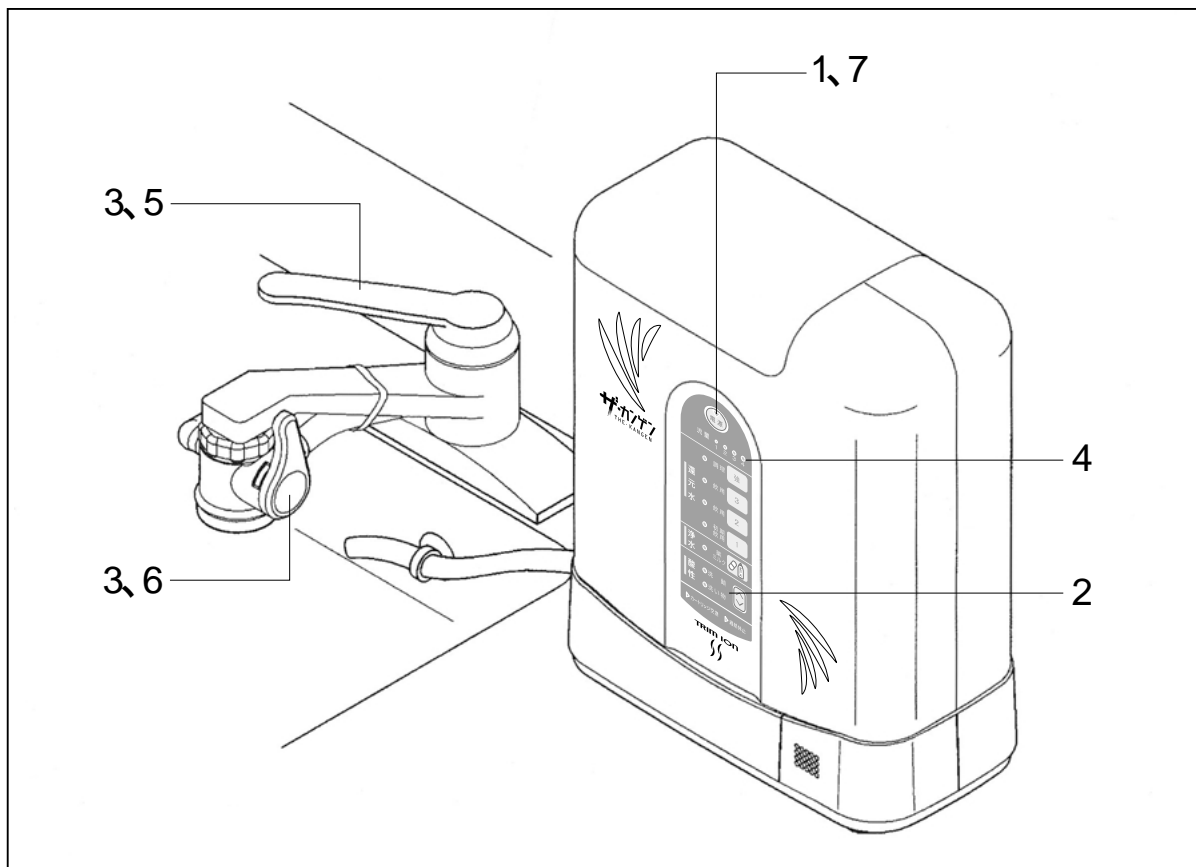
必ず分岐水栓の切替レバーを原水またはシャワーに切替えてください。

切替えないと整水器を使用しないときでも蛇口がきちんと閉まってないときには排水ホースから水が開放となります。

過熱休止表示灯が点滅したら...

長時間連続して使用したり、水質によっては器機のオーバーヒートを防止するために過熱休止表示灯が点滅し、電気分解ができない場合があります。この時は、給水を止め使用を中止してください。内部の温度が下がってきますと動作が復帰し、過熱休止表示灯の点滅が止まります。

酸性水の取水



1. 電源スイッチを押し、電源表示灯が点灯することを確認します。

同時に取水切替スイッチ表示灯の1つが点灯します。

2. 取水切替スイッチの酸性(2段階)を用途に応じたレンズを押します。選択した種類のレンズの表示灯が点灯します。

3. 分岐水栓の切替レバーを **整水** に切替え、水道の蛇口を開け、整水器に給水します。

4. 流量表示灯が点灯し、ブザー音(ピッ、ピッ)が鳴り始めます。

流量表示灯は整水器に給水される水道水の量によって点灯数が変化します。水圧の変化等により、点灯数が異なります。赤色表示灯が点灯する場合は水量が多すぎますので、蛇口を絞り水量を調節してください。ブザー音が鳴り始めて、2～3秒後から安定した生成水が取水できます。

5. 生成水を取り終わりましたら、蛇口を閉じてください。流量表示灯が消え、ブザー音が切れます。

6. 分岐水栓の切替レバーを原水またはシャワーに切替えます。

7. 電源スイッチを押し、電源表示灯が消えたことを確認します。

使用後は...

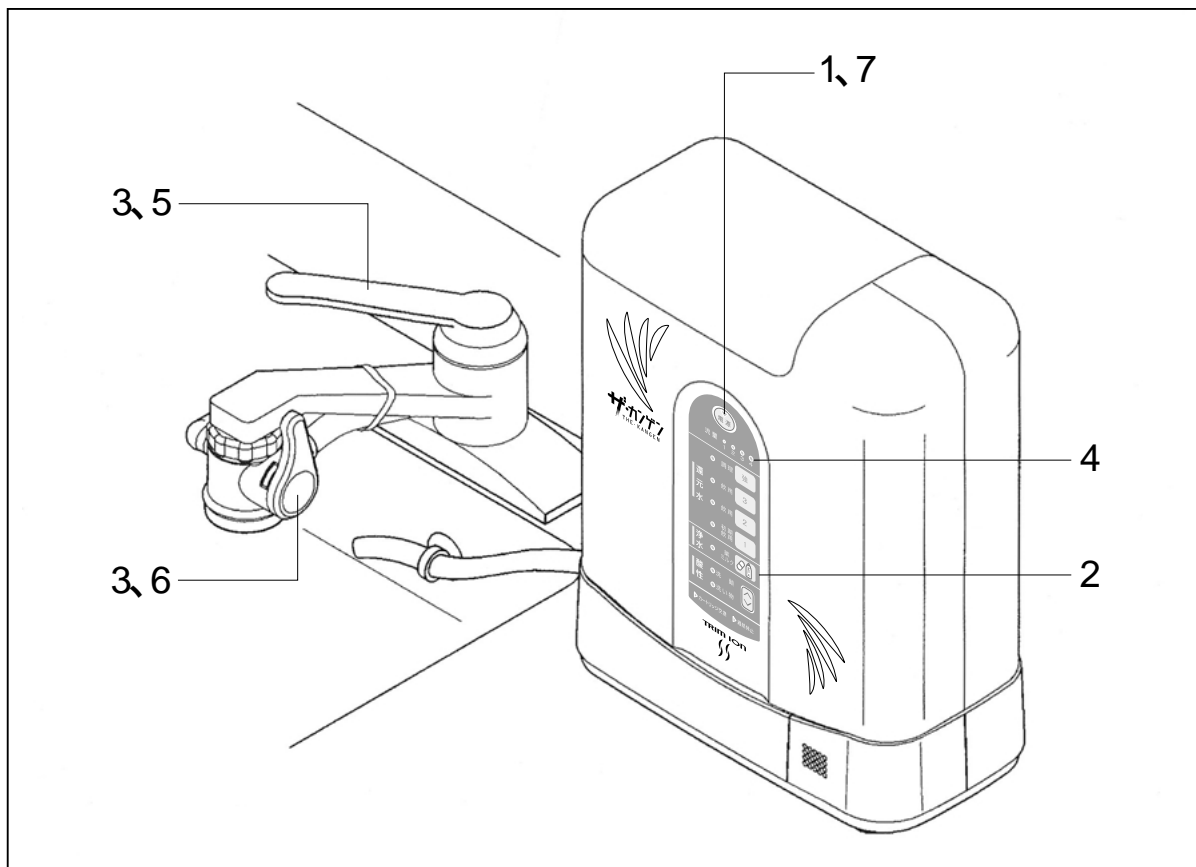
必ず分岐水栓の切替レバーを原水またはシャワーに切替えてください。

切替えないと、整水器を使用しないときでも蛇口がきちんと閉まってないときには排水ホースから水が開放しなれます。

過熱休止表示灯が点滅したら...

長時間連続して使用したり、水質によっては器機のオーバーヒートを防止するために過熱休止表示灯が点滅し、電気分解ができない場合があります。この時は、給水を止め使用を中止してください。内部の温度が下がってきますと動作が復帰し、過熱休止表示灯の点滅が止まります。

浄水の取水



1. 電源スイッチを押し、電源表示灯が点灯することを確認します。

同時に取水切替スイッチ表示灯の1つが点灯します。

2. 取水切替スイッチの浄水を押します。浄水レンジの表示灯が点灯します。

3. 分岐水栓の切替レバーを **整水** に切替え、水道の蛇口を開け、整水器に給水します。

4. 流量表示灯が点灯します。

流量表示灯は整水器に給水される水道水の量によって点灯数が変化します。水圧の変化等により、点灯数が異なります。赤色表示灯が点灯する場合は水量が多すぎますので、蛇口を絞って水量を調節してください。

5. 生成水を取り終わりましたら、蛇口を閉じて下さい。流量表示灯が消えます。

6. 分岐水栓の切替レバーを原水またはシャワーに切替えます。

7. 電源スイッチを押し、電源表示灯が消えたことを確認します。

使用後は...

必ず分岐水栓の切替レバーを原水またはシャワーに切り替えてください。

切替えないと、整水器を使用しないときでも蛇口がきちんと閉まってないときには排水ホースから水が開放となります。

給水をしながら、取水切替スイッチの浄水を押さないでください。水量が多い場合はブザー音がして表示灯が点滅し、浄水に切替わらない場合があります。この時は、給水を止めてから、取水切替えスイッチの浄水を押してください。

pH(ペーハー)の調節



取水切替スイッチ(還元水)を押して生成水の濃度をかえす。還元1 還元2 還元3 還元強の順でアルカリ度が強くなっていきますが、pH9 ~ 9.5 位でお飲みください。

アルカリ度は、流量の大小、水道水の季節的变化などで

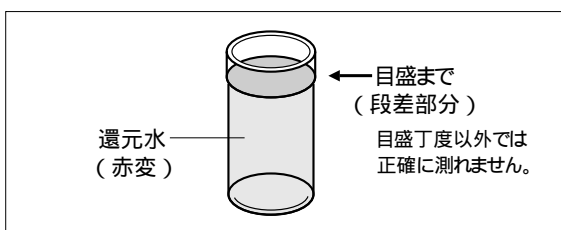
変わりますので、アルカリ性電解水を飲用に用いるときは、使用開始時とその後1カ月に1回以上、付属のpH測定液「フェノールフタレイン溶液」でpH値を確認し、飲用範囲である事を確認してから飲用してください。

pHの測定方法

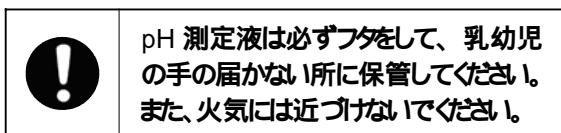
付属のpH測定液「フェノールフタレイン溶液」を付属の試験管に2滴落としてください。



次に生成された還元水を付属の試験管の目盛まで入れてください。



赤変した還元水のpH確認は、付属のpH測定液標準変色表と比べてください。pH9.0 ~ 9.5 位が飲用に適しています。測定に使用した水は無害ですが、飲まないでください。



還元水の飲み方、使用上のご注意

毎日使い始めの水は、酸性の「洗い物」のレンジで約1分間通水して、その後還元水に戻してから飲用してください。数日間以上使用しなかったときは、酸性の「洗い物」のレンジで最初の約3分間通水して、その後還元水に戻してから飲用してください。

初めて飲用する人は、pH9 位の生成水を少量から飲用してください。その後体調に応じてpH、量を調節して飲んでください。

pH9 ~ 9.5 位が飲用に適しています。

保存する場合は、ポリ容器又は密閉できる容器に入れて、冷蔵庫で保存してください。

衛生上2日以内に飲用してください。

次のような生成水は飲まないでください。

- (1) pH測定液の入った生成水。
- (2) pH10 以上の水。
- (3) 排水ホースから出る水。
- (4) 酸性水。

一日の飲用量の適量

アルカリ性電解水の飲用量は1日あたり500 ~ 1000ml 程度を適量とします。

酸性水の使用法、使用上のご注意

洗顔用または洗浄用として使用してください。

酸性水は外用水ですので、飲用しないでください。

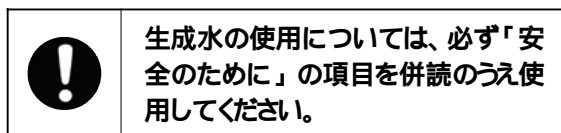
酸性水を保存する場合は、ポリ容器又は密閉できる容器に入れて、冷蔵庫で保存しますと1 ~ 2日間ほど保存できます。

浄水の使用法、使用上のご注意

浄水モードでの生成水は水道水の塩素を除去した水です。

薬の飲用の水、乳児のミルク用の水として使用ください。

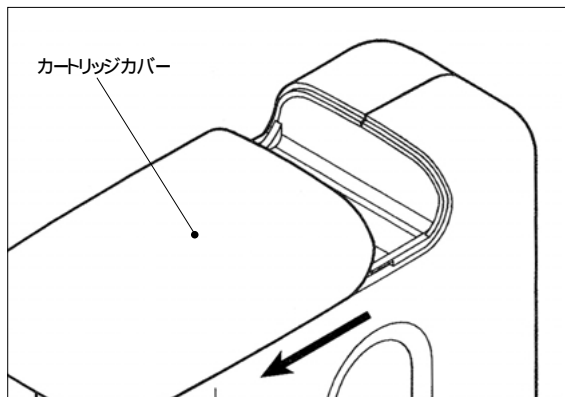
浄水を保存する場合は、ポリ容器又は密閉できる容器に入れて冷蔵庫に入れて保存しますと1 ~ 2日間ほど保存できます。



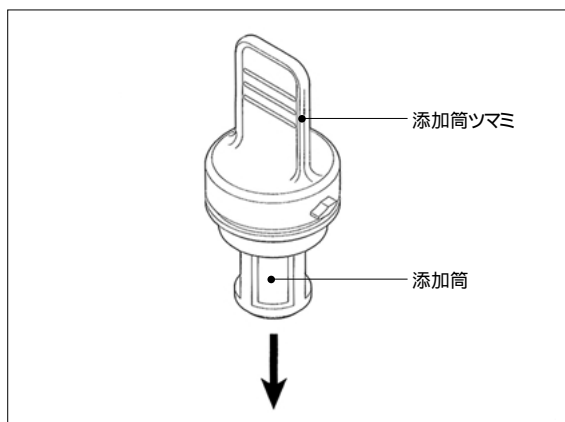
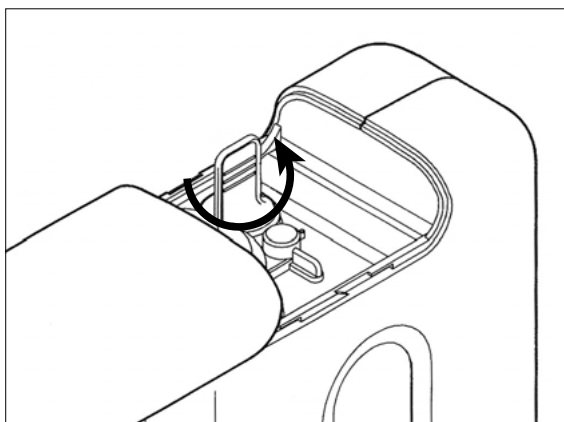
乳酸カルシウムの添加方法

乳酸カルシウムは、電気分解を促進するための補助剤です。

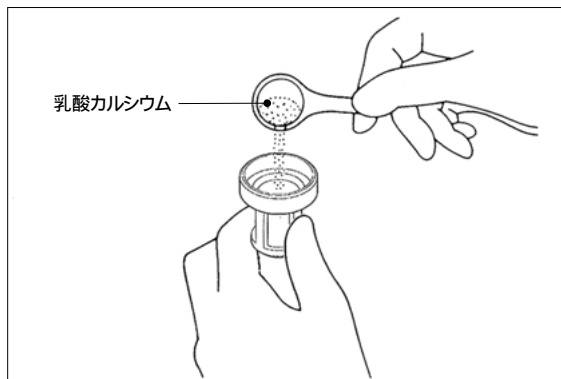
(1) カートリッジカバーを左へスライさせ、取り外します。



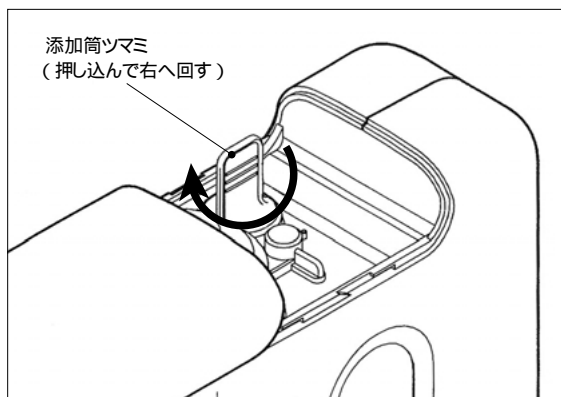
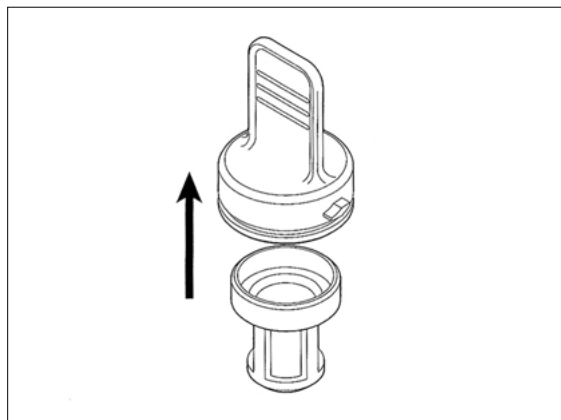
(2) 添加筒ツマミを回し添加筒を取り出します。添加筒と添加筒ツマミは図のようにして取り外します。



(3) 添加筒に八分目程、付属の乳酸カルシウムをいれます。



(4) 図のように添加筒と添加筒ツマミをセットし、整水器本体にセットします。この時、Oリングがねじれたり、ゴミやカルシウムが付着していない事を確認してください。水漏れの原因となります。

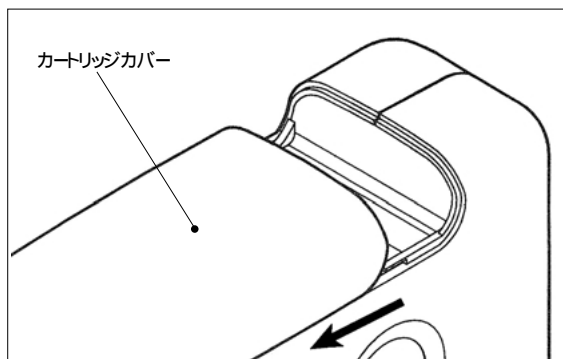


(5) カートリッジカバーを整水器本体にセットします。

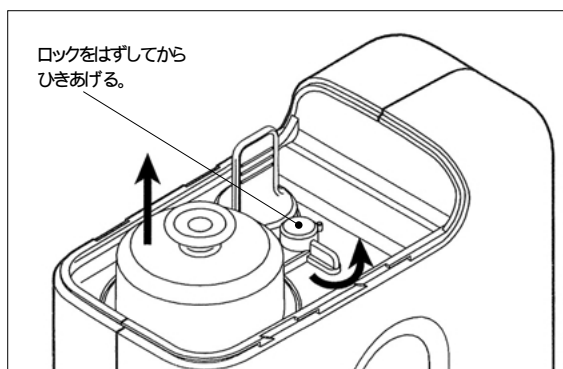
浄水カートリッジの交換

浄水カートリッジ交換ランプがブザーと共に点滅し始めたら、次の順序で新しいカートリッジに交換してください。

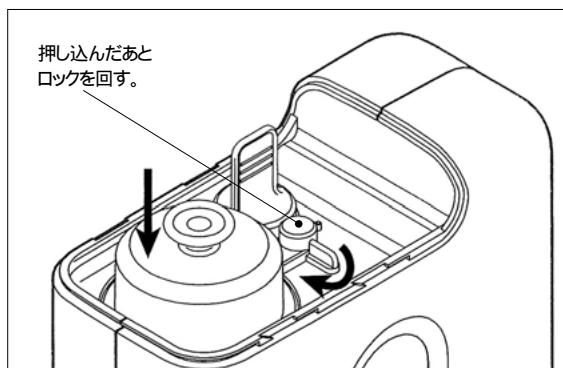
- (1) 蛇口を閉じてください。
- (2) カートリッジカバーを左にスライドしてはずしてください。



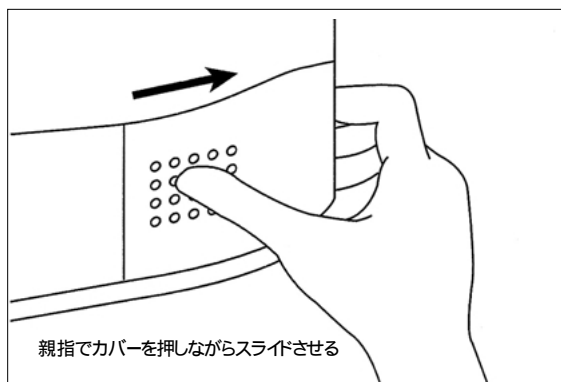
- (3) カートリッジを引き上げてください。
ロックをはずしてからカートリッジを引き出してください。



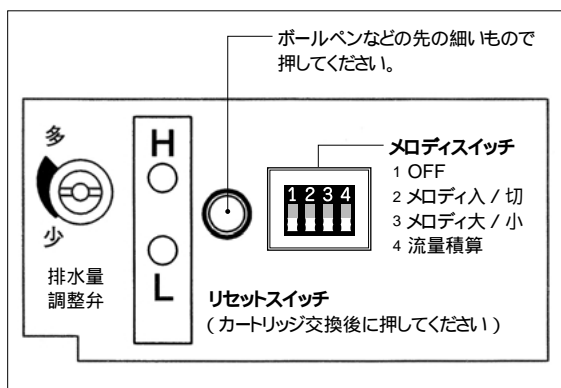
- (4) 新しいカートリッジを本器に充分押し込みます。
カートリッジの底から出て本器に溜まった水は残さないよう、少し放置して完全に排水してから新しいカートリッジを入れてください。



- (5) カートリッジカバーをはめてください。
- (6) スイッチカバーを外してください。(右にスライドすれば外れます。)



- (7) 電源ランプが点灯していることを確認して、本器スイッチポケットのセットスイッチを押してください。
ランプの点滅が消えます。(使用水量積算値が0に戻ります。)



- (8) スイッチカバーをはめてください。

長期間使用しないとき

- (1) 蛇口を閉じてください。
- (2) 電源スイッチを切ってください。
- (3) 乳酸カルシウム添加筒を取り出し、洗ってください。
- (4) 電源コードはコンセントに接続した状態にしてください。電源コードを抜いた状態ですと本体内の流量データが失われます。

浄水カートリッジの交換の際は、最寄の販売店にご相談ください。